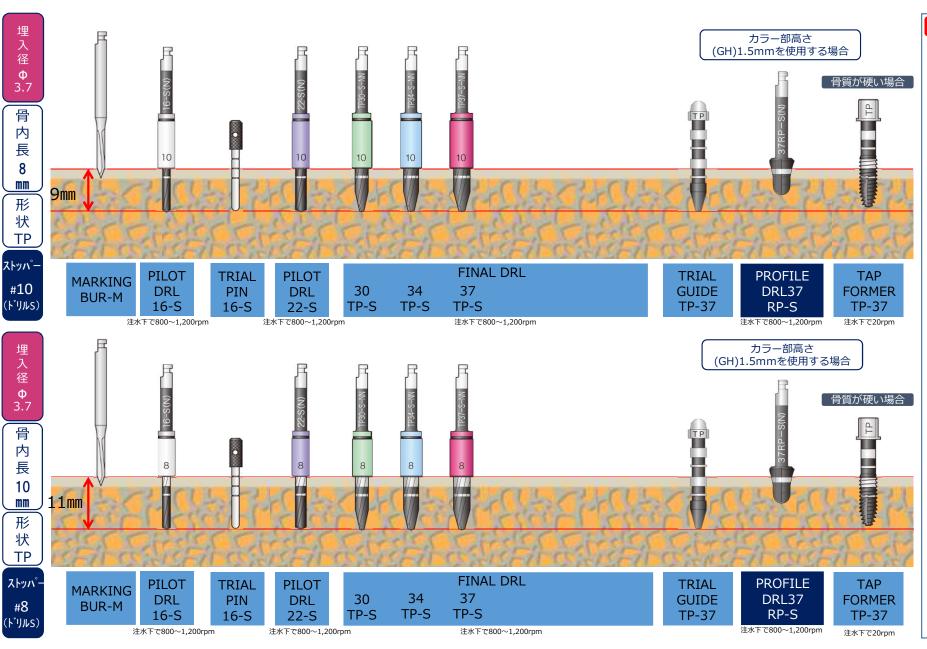


FINESIA® 術式チャート

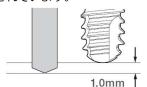
Relios

Tissue Level

ストッパー付 テーパータイプ (TP)

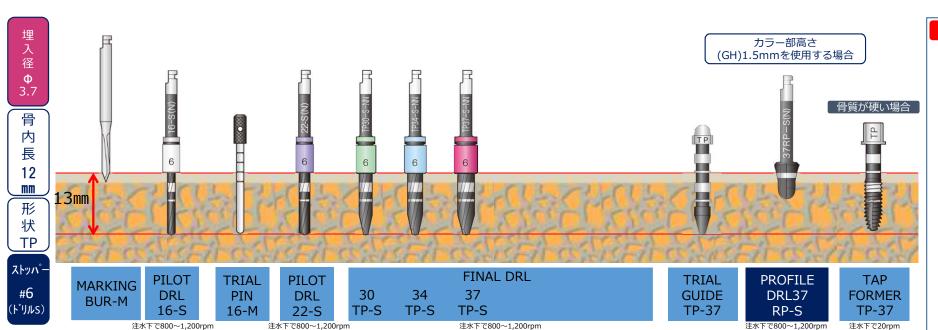


- 1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な窩洞形成の原因になりますので使用しないでください。
- 2. パイロットドリルとファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm 長く設定されています。

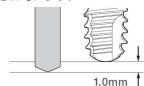


- 3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。
- 4. ファイナルドリルは-NNタ イプであることを確認してくだ さい。
- 5. プロファイルドリルは先端 が丸く (N)のマーキングがあ ることを確認してください。



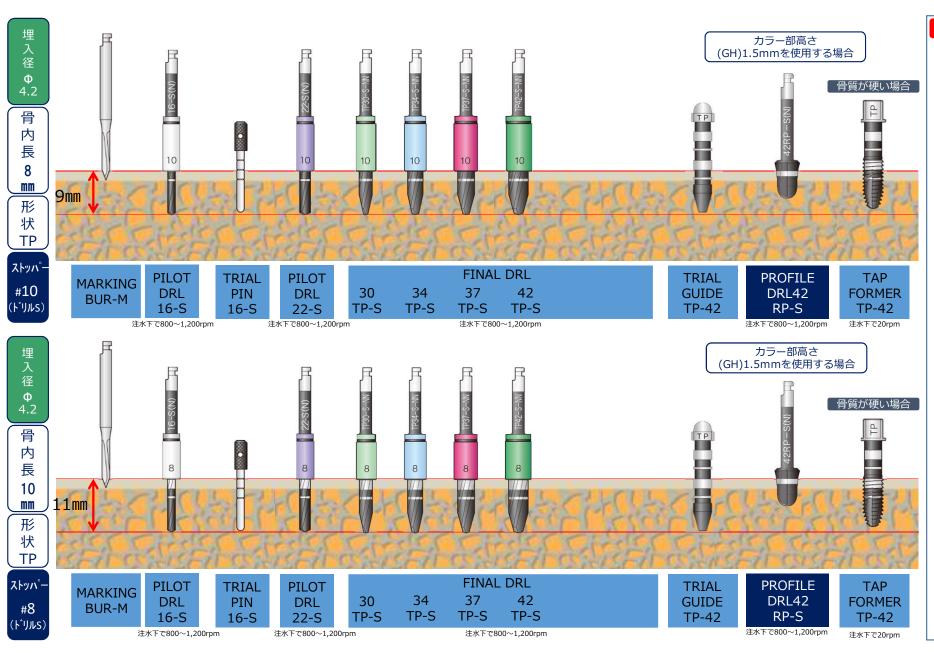


- 1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な窩洞形成の原因になりますので使用しないでください。
- 2. パイロットドリルとファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm 長く設定されています。

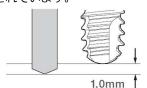


- 3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。
- 4. ファイナルドリルは-NNタ イプであることを確認してくだ さい。
- 5. プロファイルドリルは先端 が丸く (N)のマーキングがあ ることを確認してください。



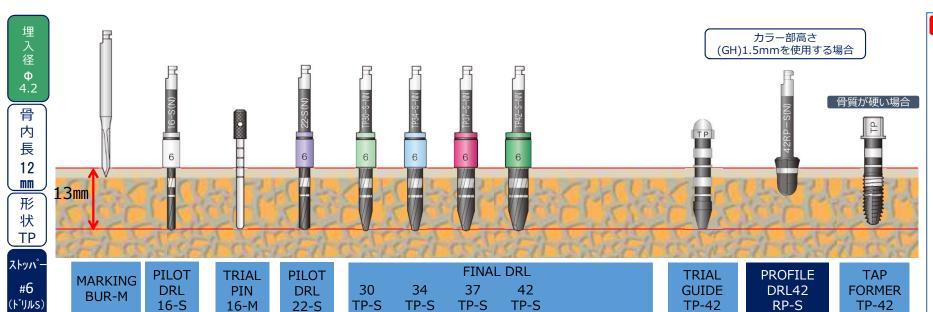


- 1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な窩洞形成の原因になりますので使用しないでください。
- 2. パイロットドリルとファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm 長く設定されています。



- 3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。
- 4. ファイナルドリルは-NNタ イプであることを確認してくだ さい。
- 5. プロファイルドリルは先端 が丸く (N)のマーキングがあ ることを確認してください。





注水下で800~1,200rpm

注水下で800~1,200rpm

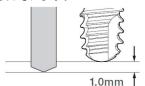
注水下で800~1,200rpm

注意

注水下で800~1,200rpm

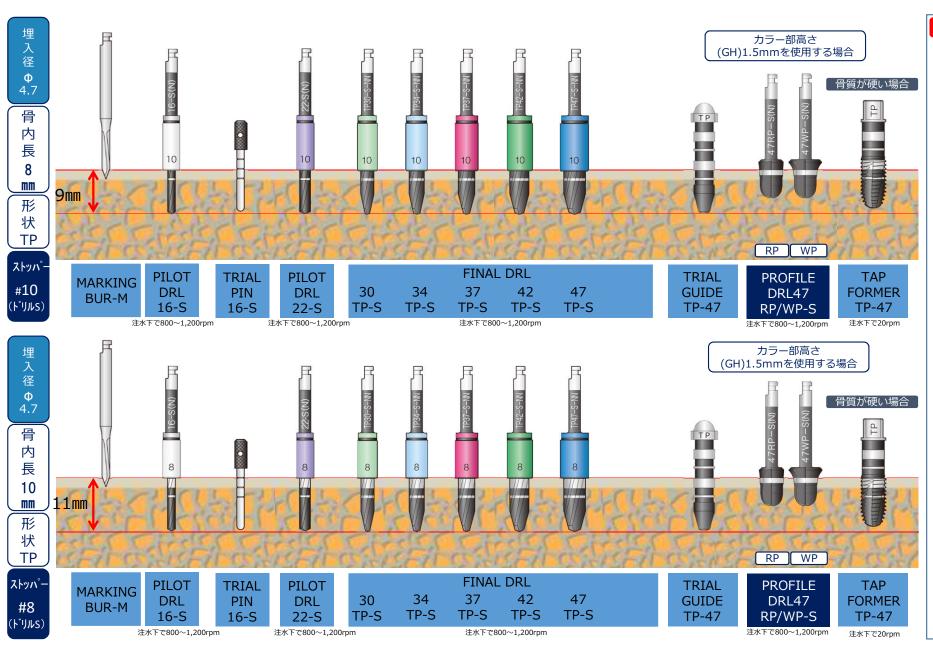
注水下で20rpm

- 1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な窩洞形成の原因になりますので使用しないでください。
- 2. パイロットドリルとファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm 長く設定されています。

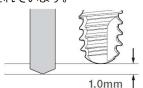


- 3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。
- 4. ファイナルドリルは-NNタ イプであることを確認してくだ さい。
- 5. プロファイルドリルは先端 が丸く (N)のマーキングがあ ることを確認してください。



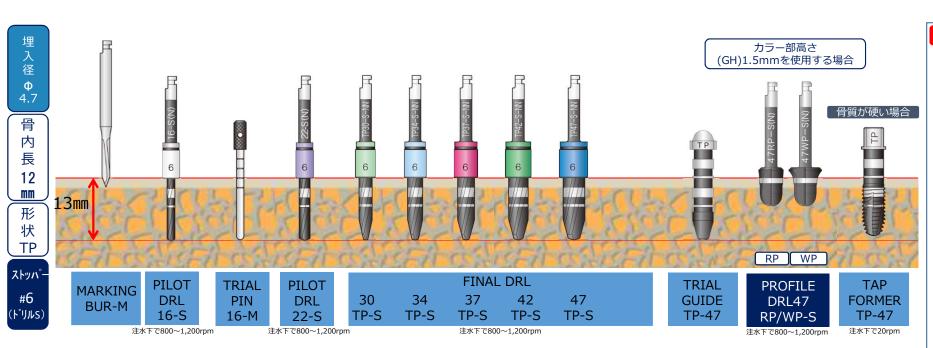


- 1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な窩洞形成の原因になりますので使用しないでください。
- 2. パイロットドリルとファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm 長く設定されています。

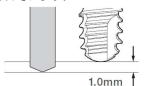


- 3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。
- 4. ファイナルドリルは-NNタ イプであることを確認してくだ さい。
- 5. プロファイルドリルは先端 が丸く (N)のマーキングがあ ることを確認してください。





- 1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な窩洞形成の原因になりますので使用しないでください。
- 2. パイロットドリルとファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm 長く設定されています。



- 3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。
- 4. ファイナルドリルは-NNタ イプであることを確認してくだ さい。
- 5. プロファイルドリルは先端 が丸く (N)のマーキングがあ ることを確認してください。



■TLインプラント体の粗面が露出する場合の注意点

- 埋入位置の骨形態によっては、インプラント体のカラー部が骨に干渉し、公称骨レベル以下の粗面が露出する場合があります(図1)。 TLインプラント体のサイズに対応するプロファイルドリル(図2)を選択し、骨頂の低い位置がインプラント体の公称骨レベルになるよう、必要に応じてプロファイルドリルで干渉部の除去を行ってください(図3)。プロファイルドリルは回転数800rpm~1200rpmで十分な注水下で使用してください。
- 干渉骨の除去により公称骨レベルが想定より下がった場合、埋入窩の深さが足りなくなります。埋入するインプラント体の骨内長サイズを変更するか、顎骨量や血管・神経までの距離が十分にあれば再度ファイナルドリルにより埋入窩形成を行ってください。



注意

• Relios(FINESIA BE)用のプロファイルドリルをご使用ください。プロファイルドリルの先端が丸く、(N)のマーキングがあることを確認してください(図4)。



• 埋入するインプラント体のカラー部高さの公称骨レベルに対応した目盛りを確認してください(図3)。不適当な目盛りのラインを選択すると、干渉する骨を十分に除去できない、あるいは必要以上に除去してしまい、インプラント体の適切な埋入ができなくなります。

■TLインプラントの埋入(マイクロモーターによる埋入手順)

1. 外箱からアルミバッグを取り出します。 2. 容器を清潔域に取り出します。





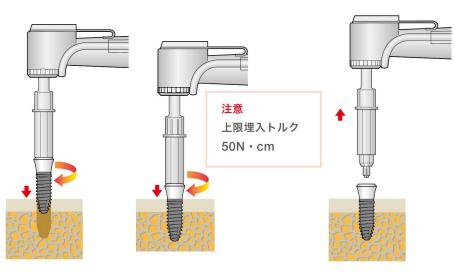
3. 容器の蓋を外します。



- 1. マイクロモーターに装着したイン プラントドライバーCH をインプラント プラント床にインプラント体の埋入 体に装着し、インプラント体を容器か ら取り出します。
- 2. マイクロモーターを用いてイン を開始します。
- 3. インプラント体を20rpm 以下の回転数で正 回転させて最終位置まで埋入します。 ※必要であれば、トルクレンチに変更し、埋入します。 インプラントドライバーCHを取り外します。

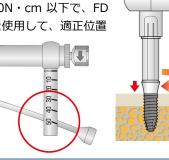






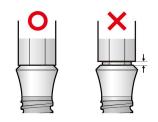
最終トルク調整、締結

モーターで目的の埋入深度までインプラント体 が埋入できない場合は、50N・cm 以下で、FD アダプタとトルクレンチを使用して、適正位置 まで埋入します。



注意

- 1. インプラント体を容器から取り出す際は、容器内のリングに擦れな いようにまっすぐ引き抜いてください。
- 2. インプラントドライバーCH をインプラント体に装着する際は、 奥までまっすぐに挿入してください。



- 3. FD アダプタは繰り返し使用によって、把持力が低下する場合が あります。使用前にインプラントドライバーと組み合わせて、把持力が 保たれているか確認してください。
- ※トルクレンチによる埋入時のみ
- 4. 埋入トルクが50N・cm を超える場合、インプラント体を一度抜去 し、タップフォーマーでタップ形成を行った後、再度インプラント体を 埋入してください。
- 5. インプラント体植立後は適切な免荷期間を確保してください (下顎では3ヵ月以上、上顎では6ヵ月以上)。

■TLインプラントの埋入(マニュアルによる埋入手順)

1. 外箱からアルミバッグを取り出します。 2. 容器を清潔域に取り出します。











1. FD アダプタを用いてインプラント 2. FDアダプタを用いてインプラ ドライバー CH をインプラント体に装 着し、インプラント体を容器から取り 出します。

ント床にインプラント体の埋入を 開始します。

3. インプラント体を正回転させて最終位置まで 埋入します。

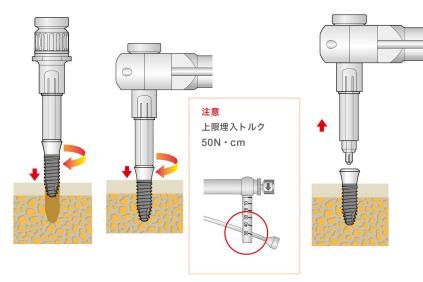
インプラントドライバー CHを取り外します。



FD アダプタ

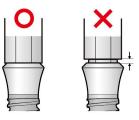






注意

- 1. インプラント体を容器から取り出す際は、容器内のリングに擦れな いようにまっすぐ引き抜いてください。
- 2. インプラントドライバーCH をインプラント体に装着する際は、 奥までまっすぐに挿入してください。



- 3. FD アダプタは繰り返し使用によって、把持力が低下する場合が あります。使用前にインプラントドライバーと組み合わせて、把持力が 保たれているか確認してください。
- ※トルクレンチによる埋入時のみ
- 4. 埋入トルクが50N・cm を超える場合、インプラント体を一度抜去 し、タップフォーマーでタップ形成を行った後、再度インプラント体を 埋入してください。
- 5. インプラント体植立後は適切な免荷期間を確保してください (下顎では3ヵ月以上、上顎では6ヵ月以上)。

本術式チャートに記載されている製品は、下記の医療機器承認/届出番号を取得しています。

販売名	分類	一般的名称	承認 / 届出番号	クラス分類
FINESIA TLフィクスチャー BE	高度管理医療機器	歯科用インプラントフィクスチャ	30500BZX00286000	III
FINESIAインプラント用手術器具	一般医療機器	歯科用インプラント手術器具	26B1X10012101122	I
歯科用トルクレンチ	一般医療機器	手術用レンチ	26B1X10012108103	I
インプランターNeo Plus2	管理医療機器	電動式骨手術器械	303ALBZX00014A01	II

製造販売元:京セラメディカル株式会社

株式会社ナカニシ

京セラメディカル株式会社

https://www.kyocera-medical.co.jp

本社 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地 〒612-8450 Tel:075-778-1982 Fax:075-778-1983

	札幌市中央区北1条西3丁目3(札幌MNビル10F) 〒060-0001 Tel:011-555-3288 Fax:011-281-6525
東京営業所	東京都港区三田3丁目5番19号(住友不動産東京三田ガーデンタワー23F) 〒108-0073 Tel:03-6364-5565 Fax:03-6364-5560
名古屋営業所	名古屋市中区丸の内3丁目20-17 (KDX桜)通ビル8F) 〒460-0002 Tel: 03-6364-5565 Fax: 03-6364-5560 (注) デンタル営業部のご連絡先窓口は東京営業所となります。
大阪営業所	大阪市淀川区宮原3丁目3-31(上村ニッセイビル9F) 〒532-0003 Tel:06-7178-1898 Fax:06-6350-8157
岡山営業所	岡山市北区磨屋町10-16(あいおいニッセイ同和損保岡山ビル4F) 〒700-0826 Tel:086-803-3625 Fax:086-225-2289
九州営業所	福岡市博多区博多駅東2丁目10-35(博多プライムイースト6F) 〒812-0013 Tel:092-452-8148 Fax:092-452-8177



www.finesia.world

「FINESIA」「Relios」は、京セラメディカル株式会社の登録商標です。

本資料に記載の情報は、2025年10月時点のものです。 本資料については、無断で複製、転載することを禁じます。

© 2025 KYOCERA Medical Corporation 1_130 D-221-1t